

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 山口県 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	岩国市立周北小学校児童及び教職員（7名+6名） 岩国市立修成小学校児童及び教職員（17名+6名） 岩国市立高森小学校教職員（1名）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 体 育 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目 標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・著名なスポーツ選手による指導を受けることによって、陸上運動系に関する技能の向上を図るとともに、運動や体力向上についての意欲を高める。(児童) ・小学校体育科における陸上運動系の効果的な指導法について研修し、体育科授業における指導力の向上を図る。(教員)
5 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「夢へのチャレンジ！」(30分) 講師：成迫健児（オリンピック：陸上競技・ハードル） <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックによる陸上教室（1時間） ウォーミングアップ 基本的なスプリント動作 クラウチングスタートにチャレンジ ハードルの基本的な動作 ハードル走にチャレンジ <div style="text-align: right;">  </div>



- 陸上大会に向けてのハードルの練習（体育）



6 主な成果

- オリンピアンによる講演と実技指導により、オリンピック、パラリンピックについて、これまでとは違って身近なものとして感じることができるようになった。
 - オリンピアンによる実技指導により、運動することの楽しさを感じさせることができた。また、オリンピックの実技能力の素晴らしさを目の当たりにすることで、運動することへのあこがれを抱かせることができた。
 - 陸上競技会に向けて自分のめあてを立てて練習に取り組むことができた。
- <児童の感想等>
- 前までは、ハードルが怖かったけど、教えてもらいうちに少しも怖くないようになりました。これからはぼくもがんばるので、成迫選手も頑張ってください。
 - 私はいつもタイムばかり気にして、跳び方なんてメチャクチャでした。まず股を上げる練習をしてから跳ぶとうまく跳べました。今度の陸上記録会までには、練習をたくさんして、もっと上手になりたいです。
 - 成迫選手のお話は、日頃先生が言われていることと共通点があることに気づきました。それで、先生の言われたことをやれば、もっと速くなれると思います。今日の練習を生かして、陸上大会を頑張ります。

7 実践において工夫した点（事業の特色）

- 小規模校であるため近隣の小規模校と合同で実施した。
- 1年から6年までの児童が参加するため、講演時間よりも、実際に体を動かす時間を長く設定した。
- 市内で実施される陸上記録会に本講演と実技指導を関連づけることで、子どもの意欲の実践化を図った。

8 主な課題等

- 技能の向上を図り運動や体力向上についての意欲を高めるためには、継続した指導を受けることが望ましい。
- 継続した児童への指導を行うために、児童の指導とは別に、教員対象の指導時間を設けたことが望ましい。

9 来年度以降の実施予定

本年度の実践を元に、教員が中心となってハードル走等の指導に当たっていく。